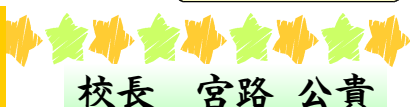




**がんばりと成長を認め、次の新たな目標へ  
～命と時間を大切に作る夏休みに～**



1学期もいよいよ終業式を迎えました。初めての小学校生活を過ごした1年生。大きな声で元気なあいさつができるようになり、ひらがなを上手に書いたり、たし算やひき算をしたり、給食の配膳や係の仕事、そうじも頑張っていました。

また、最高学年の6年生は、学校のリーダーとして、朝のボランティア活動、委員会活動、学校行事など、下級生のよき手本となって頑張ってくれました。

そして、2年生から5年生の子供たちも、それぞれの学級や自分のめあてに基づいて、毎日、仲良く元気に頑張ってくれました。



さて、明日からの夏休みをどのように過ごすか、この期間の過ごし方が、2学期からの生活に大きく影響します。

毎日の生活リズムを早寝早起きで整え、午前の涼しいうちに勉強や読書をして、計画的に充実した毎日を過ごしてほしいと思います。どうしても子供だけでは計画的な生活リズムが確保できない、あるいはインターネットやゲームに夢中になって長時間費やしてしまう。こういう場合はやはり大人の出番です。子供だけでは難しい局面では、気づいた時点で、大人が積極的に関わってくださることが、軌道修正を早めに

行い、リスクを最小限に抑えることにつながると思います。



そして、忘れてならないのが「いろいろな危険といつも隣り合わせにある」ということです。

1学期には、「スマホを見ながら自転車に乗っている」「線路内を歩いている子供がいる」「子供だけで、川で遊んでいる」などの情報もあり、危険意識の低下がうかがわれるような面もありました。知識だけが優先し、意識が低下するというのは危険なことだと思います。頭で分かっても行動に表せないというのではなく、しっかりと行動にうつすことで、その意味や大切さを改めて感じてほしいと思います。

夏休みの生活や学習のきまり、命を守る行動について親子で確認し、感染症防止対策を講じながら楽しく有意義で、事故のない夏休みを過ごしてほしいと思います。

また、虫歯治療のチャンスです。早目の治療もお願いします。

1学期の間、学校、子供たちを温かく見守り、支えてくださった保護者、地域の皆様、柁城っ子見守り隊の皆様ありがとうございました。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。



**「おみやげに、誕生日に、本のプレゼント」  
はいかがですか？**

1学期、それぞれの学年で学校図書館で一番多く本を借りた子供たちに「柁城っ子輝き賞」として賞状を渡しました。一番多く借りた子で260冊。読書の効果は多く語られていますが、ある調査では、本を多く読んでいる子供ほど、

「漢字・言葉が増えた」など読書の効果を実感してる。

④ 「本を読んで心が落ち着く」など心理的な安定につながる。

- ① 漢字・文法の「知識」、物語文や説明文など思考力を問う「読解」の力が高い。
- ② 「最後まできちんと読む」「気になったところを読み返す」など読み方を工夫している。
- ③ 「長い文章が読めるようになった」「知っ

という結果が示されています。

テレビを消して、親子で読書をしたり、一緒に新聞を読んだり、図書館や書店に親子で行くのも読書習慣のきっかけになると思います。

また、「おみやげ、誕生日に本のプレゼント」はいかがでしょうか。「お気に入りの一冊」「宝物の一冊」に出会えるかもしれません。